

7/21 いつまでもお元気で 古川ツヤさん100歳の表彰とお祝い



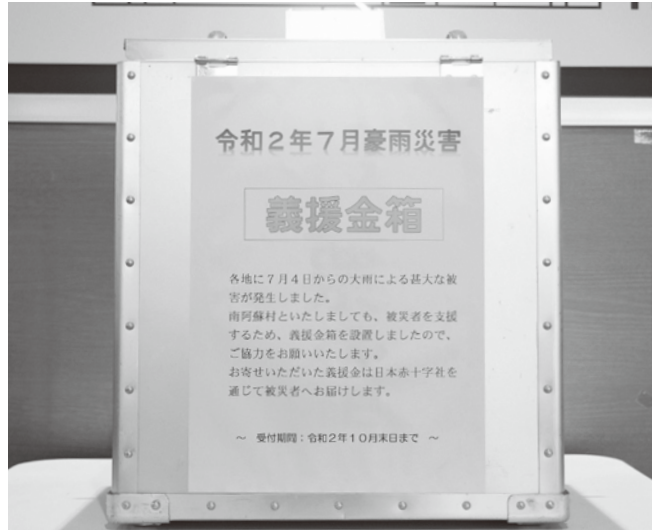
素敵なお笑顔で拍手に応えられました

古川ツヤさん(第八駐在)が100歳を迎えられ、南阿蘇村社会福祉協議会のホールにて村から表彰状とお祝いが贈呈されました。古川さんは大正9年7月21日生まれ。お茶や生け花が趣味で、生け花は師範の免許を持っていらっしゃるそうです。

表彰状が渡されると、デイサービス利用者などの方から拍手が沸き起こり、古川さんは手を振って応えられました。ニコリと笑われ、穏やかでチャーミングな笑顔が印象的な古川さんでした。



ご協力をお願いします 令和2年7月豪雨に伴う義援金箱を設置



南阿蘇村役場1階玄関に設置の義援金箱

南阿蘇村役場、南阿蘇村社会福祉協議会、あそ望の郷くぎの物産販売所の3カ所に令和2年7月豪雨の被災者を支援するための募金箱を設置しております。

期間は令和2年10月末日まで、お寄せいただいた義援金は日本赤十字社を通じて被災地へお届けします。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

7/28 南阿蘇の農業の担い手に 家族経営協定書締結式



中央、山戸将大さん、香菜美さん夫妻

家族で意欲を持って農業経営に参画できるよう役割分担や就業条件等を話し合い、その内容を書面化した「家族経営協定」の締結式がおこなわれました。

今回協定を結ばれたのは山戸将大さん・香菜美さんご夫妻(中松三)。今後について、将大さんは「若い農業経営者が少なくなっているため、村の活性化につながる農業経営を目指したい」と抱負を述べ、香菜美さんは「将大さんを支えられるよう頑張ります」と夫婦共同経営への意欲を新たにされました。

7/22 保育園児へ旬の贈り物 JA阿蘇南部トマト部会



トマトを受け取った白水保育所の園児たち

JA阿蘇南部トマト部会より村内の3つの保育園に対して箱いっぱいのトマトの贈呈がありました。

トマトを受け取った園児たちからの「お仕事がんばってね!!」との声援に対し、JA阿蘇南部トマト部会の方々は笑顔で応えられていました。

贈呈されたのは「りんか」という品種のトマトで、保育園の給食での提供があり、各家庭にも配られました。



8/17 楽しみながら学びました B&G水辺の安全教室とカヌー体験



(中央上) 子どもたちに指導する徳部拓哉さん

南阿蘇村白水B&G海洋センターにて、水辺で安全に遊ぶことができるよう、浮き身の練習やライフジャケット体験などをおこなう「水辺の安全教室」が開催されました。

併せてカヌー教室も開かれ、教育委員会職員が子どもたちへ指導し、参加した児童は真剣に取り組んでいました。当日はインターンシップで職場体験に来られた、高森高校の徳部拓哉さん(第八駐在)も一緒に参加しました。

8/3 自らの将来のための教室 南阿蘇村放課後英数教室開講



講師の皆さまに挨拶する受講生代表の藤本紫乃さん

今年度で3回目となる南阿蘇村放課後英数教室の開講式が南阿蘇中学校体育館でおこなわれました。受講生を代表して挨拶した藤本紫乃さん(白川)は「英数教室の開講を楽しみにしていた。少しでも苦手をなくせるように頑張りたい」と話しました。

放課後英数教室は村が支援し、中学3年生を対象に高校受験直前の2月末まで実施予定です。

8/8 4年4カ月ぶりのお出迎え JR豊肥本線が全線開通しました



ちょうよう保育園児童が手作りの手旗でお出迎え

2016年の熊本地震で被災し、肥後大津駅-阿蘇駅間で不通となっていたJR豊肥本線が8月8日に4年4カ月ぶりとなる全線開通をしました。地震、新型コロナウイルス感染症と暗い話題の続く南阿蘇村の観光にとって明るい話題となります。

立野駅では、全線開通後の始発列車となる「あそぼーい!」と「九州横断特急」のお出迎えがあり、ちょうよう保育園の児童や地元の立野地域住民と、地域住民で組織された立野わかもん会などが手旗と横断幕でお出迎えをしたほか、列車の到着に合わせた南阿蘇エイサー隊の演奏、立野駅名物のニコニコ饅頭と白川水源の水の配布な



念願の開通となりました

どのもてなしがあり、受け取った乗客はこのお出迎えに笑顔で手を振って応えていました。

地元の立野地区の住民は「列車の音やアナウンスなど地震前にいつも聞いていた音と風景がやっと戻ってきた。住民にとってこの電車は大切な足となる。工事の人など、開通工事でお世話になった皆さんにお礼を言いたい」と話されていました。

JR豊肥本線は観光面での役割の他にも、通学や日常の買い物に利用していた沿線住民が多くおり、再び地域の足としての活躍が期待されます。また一步南阿蘇村が新たな復興の歩みを進めました。